

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2024年 2月15日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 4 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	1号機	フォールアウト(放射性降下物)対象物保管管理月報において、一部未記載(2017年12月8日受入れ分)が認められたため、最新の月報に当該未記載分を追記し、累積保管量を管理。 なお、本件は当社の判断基準の報告書の誤記(品質に影響を与えない)に該当すると判断されたことから、不適合グレードを「対象外」として扱います。	対象外	2月9日
2	2号機	原子炉建屋付属棟(非管理区域)地下2階高压炉心スプレイ系ディーゼル発電設備機関室において、避難誘導灯(2R-119)の消灯が認められたため、当該誘導灯を点検・修理。 なお、修理完了まで対象避難扉付近に蓄光式誘導標識を設置。	GIII	2月9日
3	3号機	サービス建屋1階南西側(非管理区域)消火栓(S-6)元弁において、シート部に漏えいが認められた。 当該弁の下流側に新規に弁を設置し消火用水の漏えいを停止。	GIII	2月10日
4	その他	周辺線量予測評価システムにおいて、伝送異常の警報発生及びデータ伝送の停止が認められたため、原因調査・対応検討。 なお、データの伝送機能は停止しているがシステムによる放出評価が必要となった場合は、手動での線量計算・評価が可能である。	GIII	2月7日